大間々東中
学力向上通信

日進月歩 ～にっしんげっぽ～

令和５年１２月２２日（金）
No.９

☆意味を考えてみよう☆

日本漢字検定協会が毎年１２月１２日に発表する「今年の漢字」に今年も注目が集まりました。

２０２３年は、何の漢字が選ばれたか、みなさん知っていますか？

２０２３年は、「**税**（ゼイ、セイ／みつぎ）」が 5976 票で選ばれました。中学生のみなさんにはあまりなじみがないかもしれませんが、増税の議論が年間通してされるなど、様々な「税」に関する話題が多かったのが、この漢字が選ばれた理由のようです。

ちなみに、続く２位、３位は「**暑**（ショ／あつい）「**戦**（セン／いくさ）」。それぞれ 5000 票以上集まりました。夏の暑さや、WBC での熱戦等が 2023 年の印象として強かったようです。

では、ここで漢字のクイズです。何問正解できるでしょうか!
（解答は一番下にあります！）

問　①～③の漢字の読み方を答えなさい。

①　海月（　　）	②　納屋（　　）	③　家鴨（　　）
④　彩る（　　る）	⑤　携える（　　える）	⑥　省みる（　　みる）
⑦　雲丹（　　）	⑧　円規（　　）	

みなさんは、漢字を覚えるときに、どのように覚えていますか？

漢字だけでなく、英単語、数学の公式、地名や歴史上の人物の名前、自然現象の名前など、中学生の学習では「暗記」することがあります。人間は覚えていることも忘れてしまう生物です。そのため、テストなどをきっかけに反復して記憶を定着する必要があります。「暗記」とは、このための反復練習です。どうしたら、効率よく確実に記憶の練習ができるでしょうか？

覚え方には３つの原則があります。**「声に出して覚える」「紙に書いて覚える」「意味を考えて覚える」**です。「声に出して」と「紙に書いて」は日頃の授業で、または漢字練習などで取り組んでいると思います。では、**「意味を考えて覚える」**とはどういうことなのでしょう。

上の問題を例にして考えてみます。

「①　海月」の答えは、「くらげ」です。「海に浮かんでいる月みたいに見えるから海の月と書いてくらげなのだな。」このように考えて覚えます。

「⑥　省みる」については、「『かえりみる』という言葉は反省するという意味だから、反省の省と書いて省みるになるのだな。」というように考えます。

「⑦　雲丹」は、「海にいるうにだけど、『うんに』と書くのか。」と考えます。

このように考えてみると、記憶の中から知識を引っ張り出すときの手がかりが増えるのではないでしょうか。他の問題については、ぜひみなさんで「覚え方」を考えてみてください！

三年生のみなさん、受験がんばってください！応援しています。
一、二年生は年明けに学力調査があります、冬休みの課題にしっかり取り組もう！
充実した冬休みを過ごしてください。良いお年を！

解答①くらげ　②なや　③かも　④いさる　⑤たずさえる　⑥かえりみる　⑦うに　⑧コンパス